工事名 工事

				チェック欄						
	配慮項目		省工ネ標準項目		該当の 有無	導入 状況	庁舎A 口	庁舎B □	学校	住宅
	建物の熱 負荷抑制	外皮性能	屋根の断熱				0	0	0	0
			外壁の断熱(エアフローウインド	建築			0	0	0	0
			ウ、ダブルスキン含)			_				
			床の断熱				0	0	0	0
			屋上緑化				0	0	0	Δ
			外壁緑化				Δ	Δ_	Δ	<u> </u>
			複層ガラス(Low-E含む)				0	0	0	Δ
			高気密・高断熱な建具 ※1				0	0	0	Δ
			日射遮蔽(庇、縦ルーバー等)				0	0	0	0
		自然エネルギーの変換利用	太陽光発電	電気			00	00	00	0
	自然エネ ルギーの 利用	自然エネルギーの直接利用	昼光連動制御 ナイトパージ	機械			0		0	_
			外気冷房				0		_	
			太陽熱利用設備				0		Δ	
「地			へ 「 本 「 本 「 本 「 本 「 、 「 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、		Ш	Ш	0	Δ	Δ	_
			用システム				Δ	-	Δ	-
			トップランナー変圧器				0	0	0	_
	設備システ 大 で で で で の の の の の の の の の の の の の		人感センサー				Ö	Ö	Ö	Δ
			タイムスケジュール制御				Ö	Ö	Ö	Δ
			スイッチ回路の細分化				Ö	Ö	Ö	Δ
			LED照明	電			Ö	Ö	Ö	0
			高輝度誘導灯	気			0	0	0	0
			回生電力の利用(エレベーター)				Ö	Δ	Δ	Δ
球			回生電力蓄電システム(エレ				^	_	_	_
温暖化対			ベーター)				Δ	_	_	
			エスカレーター人感制御				0	0	0	-
			コージェネレーション	機械			Δ	_	_	_
策			熱源機器台数制御				0	_	_	-
^ _ ნ			高効率機器(熱源、空調機、冷却塔、ポンプ)				0	_	_	_
推進			エアコン(APF又はAPFp最高値) ※2				0	0	0	-
進			エアコンのセンサー機能(人感、温度等)				0	0	0	-
			潜熱回収型給湯器				0	0	0	Δ
			ヒートポンプ給湯機				0	Δ	Δ	_
			全熱交換器				0	0	0	Δ
			空調機可変風量制御				0	_	_	_
			空調用ポンプインバーター制御・ 台数制御				0	_	_	-
			大温度差空調(冷温水)				0		_	_
			換気量制御(CO2)				0	0	O X 3	_
			高効率電動機ファン				0		_	_
			蓄熱				0	_	_	_
		モニタリング	デマンド監視装置 自動制御・中央監視設備	電気 機 械			0	0	0	
			日期前仰"中关监院改调 BEMS		-		Δ		_	
	資源・マテ リアル対策	節水	節水器具	機			O	0	0	0
			トイレ用擬音装置		1		0	0	0	
		雨水利用システム導入	雨水利用	械	1		Ö	Δ	Δ	_
		AE AL III del 1 - Le 1 L V I I I I V A A	高炉セメント	建築			0	0	0	0
		非構造材料におけるリサイク ル材の使用	再生砕石・再生資材				0	0	0	0
Γ <u>Ε</u> -	-トアイラン	敷地内温熱環境の向上	敷地内緑化	建			0	0	0	0
		温熱環境悪化の改善	高反射率塗料	築			Δ	Δ	Δ	Δ
	<u></u>	BEI(新築・増改築に				≦ 0.8 :	*5			

- ・ 凡例 ○:原則として適用(設計時に当該項目の適用を前提とした検討を行う。)
 - △:適用を検討(設計時の項目比較検討は必ず当該項目を加えて行う。)
 - ー:原則として適用外(通常は適用外となるが、施設の特別な事情等により適用することを否定するものではない。)
- 注記 ※1:気密性等級A-4(樹脂製建具)又は断熱性等級H-1以上(アルミニウム製建具、鋼製建具、ステンレス製建具)
 - ※2:各メーカーにおいてAPF(JIS B 8616:2015)又はAPFp(JIS B 8616:2015)が最高値のラインナップとする。
 - ※3:教室は対象外とする。
 - ※4: 床面積の合計が10平方メートル以下の建築物を除く。
 - ※5: 床面積の合計が2000㎡以上の工場等の用途の建築物については、0.75以下とする。
 - 庁舎A:中央式空調設備を採用する大規模庁舎、庁舎B:個別式空調設備(パッケージ型エアコン等)を採用する小規模庁舎